

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町1番10号 住友精密工業(株)本社内
TEL. 06-6489-5861 FAX. 06-6489-5905

2019年 年始会開催

皆さん明けましておめでとうございます。只今ご紹介に預かりました会長の石川でございます。本日はご多用中にも関わらず斯くも大勢の皆様にご臨席を賜り心より御礼を申し上げます。それでは平成31年の年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

さて、昨年の世界の経済状況でございますが、皆さんが良くご承知おきの通りトランプ政権によりまして中国への追加関税が実施されます。これに伴いまして米国と中国の間で貿易戦争が始まっております。中国経済はこういった影響を受け、昨年の8月頃より景気が停滞を始めているような状況になっております。

一方、国内の経済状況の方を見ておりますと昨年は自然災害が大変多い年でした。そういったこともあり7月から9月期の実質GDPは第2四半期ぶり

にマイナス成長を記録するという事もございまして、大変好調な一年でございましたが、やや踊り場が見えてきたか、というようなことを感じさせる1年であったかなと考えております。



主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

2019年 年始会開催される	1	今後の主要行事予定	6
第85回理事会の開催	3	統計資料	9
委員会開催・活動状況			
標準化事業/ISO 対策事業	4		
標準化事業/規格事業	4		
技術調査	6		

さて、今年の景況感でございますが、米国中国の貿易摩擦は引続き続くもの、やや長い貿易摩擦になるのではないかと見られております。その一方、英国では、EU の離脱に伴う経済的な影響というようなこともグローバルには懸念をされております。そういった観点から、グローバル経済は引き続き不透明感がある状態が続いていくのではないかと、というところが大方の見方であるように思います。

日本の国内の状況でございますが、今年は消費税の増税といったようなやや懸念を覚える事柄も予定されておりますが、その一方5月には改元があります。また、秋にはラグビーのワールドカップ、そして来年に向けては東京オリンピック・パラリンピック、そして2025年には大阪万博が実施されるというようなことで経済には大変明るい話題、良い影響を及ぼしてくれそうな話題が多い年ではないかと感じており、内需に関しましては今年も腰折れをすることなく順調に推移をしてくれるという見方をしております。

そういった内外の経済状況の中におきまして、私共フルードパワー工業会の状況でございますが、昨年の4月に工業会としての出荷額予想の暦年ベースのものを出させて頂いております。昨年の1月から12月の予想値であったわけですが、その数字によりますと油圧は10%強の伸びの3,800億、そして空気圧は6%弱の伸びで5,000億と合わせて7.7%の伸びで8,800億という数字を、フルードパワー工業会として出荷額予想を出させて頂きました。ちょうど12月が終わりまして、最終的な数字がどうなったのかというところの詰めをしているところでございますが、現時点の予想ではトータル8,800億を若干上回る8,900億前後で着地するのではないかとというような数値が入ってきております。昨年はそういった意味から予想を若干上回る良い年で終えることができたのではないかと感じております。

さて、今年でございます。今年がフルードパワー工業会ではどうかというところでございますが、私どもの業界をこの1~2年大変強く牽引してくれていた業界、一つには半導体製造装置、もう一つには工作機械の業界といった業界もございまして、こちらの業界が今年は少し弱含みそうだというような情報を頂いております。その一方、内需関連の業界あるいは米国を中心とした外需で比較引き続き強い設備投資意欲があると、そういった業界をお持ちの方、またはすでにかなり高い注残をお持ちの業界、そういった業界もあるやに伺っております。総じて考えますと今年の私共の業界はやや業界ごとに斑な景

況感を提示ながらも、概ね総額としては昨年並みの出荷額になるのではないかと考えております。



そういった状況の中で私共工業会の取り組みでございますが、予てより需要対策事業、あるいは国際交流推進事業・中小企業支援事業等々の事業に取り組んでまいりまして、日本のフルードパワー業界の発展のために取り組んで参ったわけでございますが、特に若手の育成、これから考えます日本が迎えるであろう更なるグローバル化、そして高齢化を考えますと、やはりこのフルードパワー業界を今後も支えてくれる若い人材の育成というのは非常に重要な課題であろうと認識をしております。そうした取り組みを会員各社様と共に進めさせて頂いております。具体的には初級のエンジニアの皆さんへの技術講座、国家試験のための対策講座、やや中堅の方の油空圧の技術者の皆様の懇談会あるいは技術交流会等の取り組みを進めさせて頂いております。幸いにもご賛同頂ける企業の方には色々な形でご協力を頂いております。本当に心より感謝を申し上げたいと思います。フルードパワーという産業は日本の製造業、ものづくりの強さを根底から支えてくれている事業ではないかなと私は考えております。是非この日本の製造業の基盤となる業界を今後も支えてくれる人材を、しっかりと育成して参りたいと思っております。

私もこの1年微力ではございますが、工業会の発展のために貢献をして参りたいと考えております。最後になりますが、フルードパワー工業会の今年の大きな飛躍と、会員各社様の益々のご発展とここにご列席を賜りました皆様のご健勝を祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

続いてご来賓を代表して経済産業省製造産業局担当の上田審議官より、以下のご挨拶を頂きました。



皆様明けましておめでとうございます。本日はフルードパワー工業会の年始会が斯くも盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。平成最後の新年を迎えまして、そして新たな時代に入る年に当たり一言ご挨拶申し上げます。

今年の正月は比較的東京近辺は天候にも恵まれ、大変穏やかではありましたが、やはり株式市場の状況、また、先程会長からお話もございました、諸外国アメリカ、イギリス、フランス等々が非常に不安定な状況、正月早々熊本での地震が発生したということで私自身も新年を迎えて改めて身が引き締まる思いでございます。今年は大きな変化の一つとして10月に消費税の10%引き上げ見通しがございます。国民生活や経済活動に混乱が生じることの無い様、様々な対策、キャッシュレス決済時のポイント還元や軽減税率の対策の推進といった対策を講じてまいります。

また、世界に目を向けますと世界的に保護主義的な動きが広がる中、日本は自由貿易の旗手として主導的な役割を果たす必要があります。昨年末に発効したTPP11の更なる拡大を目指し、また本年2月に発効する予定の日EU EPAとともに、これらを活用した特に中堅・中小企業の海外展開を積極的に支援して参ります。言うまでもありませんが我が国経済は大きな変革期に直面しておりまして、AIやIoT等を活用した最先端技術の進展によって産業やものづくりの在り方そのものが大きく変わろうとしています。環境・エネルギーの制約や、少子高齢化、人手不足といった社会構造の変化への対応も待ったなしとなっております。これらの社会課題を解決し、世界に新たな成長モデルを示していけるよう経産省としてもConnected Industriesの実現等、世界をリードする挑戦に産業界の皆様とともに果敢に取り組んでいきたいと思っております。

フルードパワー業界について申し上げますと、先程会長からお話のあった通り、2018年度上期の生産

高・輸出高が対前年度を上回っているという事で比較的順調に推移してという具合に伺っております。特に工場自動化機器としての空気圧機器の市場が、中国等における自動化省力化投資が依然として根強いいため、大きな需要が期待されるという事でございます。他方、昨年は品質保証の関係でいくつかの不正事案が発生しております。油圧・空気圧機器は幅広い産業分野で活用されており、人命に直結する根幹部品といっても過言ではないと思っております。引き続きメイドインジャパンのプライドを強く持って頂き、ものづくりに邁進をして頂ければと思っております。

また本年の4月からではありますが、新たな在留資格が創設され、一定の専門性・技能を有した即戦力となる外国人材の受け入れが可能となります。生産性の向上や国内人材の確保の取り組みを行ってもなお人材を確保することが困難な14の業種を対象としております。その中にフルードパワー業界に係る産業機械製造業も含まれております。非常に短い期間ではありますが、法務省等々の関係省庁と連携して制度の具体化をしっかりと進めて参りたいと思っております。

最後になりますが、フルードパワー工業会及び会員企業・関係企業の皆様方の更なるご発展と、本日もご参集の方々のご健勝を記念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。ありがとうございました。

その後、年始会に移り16:40頃に和気あいあいのうちに散会しました。



第85回理事会の開催

年始会開催の前の13:30より同ホテルで第85回理事会を開催しました。初めに事務局から本理事会への理事の出席状況について報告を行い本理事会が有効に成立している旨説明しました。石川会長が会議の開催を宣し、議事録署名人として監事2名を指名、

また、ご来賓として陪席していた経済産業省製造産業局産業機械課の工藤課長補佐から挨拶と国の取り組みに関するお話を伺いました。続いて、石川会長から第84回理事会以降の会長の業務報告を行い、以下の議事の審議に入り、議案は全て承認・了承されました。

第1号議案

2019年度事業計画及び収支予算(案)の件

2019年度の事業計画及び収支予算(案)は前年度中に理事会の承認を得ることが定款で定められているため、12月の月報で報告した2019年度事業計画及び収支予算(案)の内容を説明しました。また、併せて来年度の補助金等の申請状況についても説明しました。石川会長は本件を議場に諮り、異議なく承認されました。

第2号議案

第20回定時総会の開催の件

定時総会の開催に係る事項については、あらかじめ理事会の承認を得ることが必要です。そこで、本年5月16日(木)開催予定の定時総会に提案する議案について説明しました。石川会長は本件を議場に諮り、異議なく承認されました。

第3号議案

会員の入会について

賛助会員として入会したい旨の申請があったため、説明し、了承されました。

第4号議案

その他

業務執行理事である専務理事の業務執行状況の説明と最近の出荷動向・今後のスケジュール等について説明しました。以上で審議を終え14:25に終了しました。

その後、15:00より「マグノリアルーム」において2019年 年始会の懇親会を開催しました。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
標準化事業/ISO 対策事業  
~~~~~

* ISO の動き

発行された ISO 規格

(TC131)

ISO 6301-2:2018, Pneumatic fluid power —

Compressed-air lubricators — Part 2: Test methods to determine the main characteristics to be included in supplier's literature

ISO 11943:2018, Hydraulic fluid power — Online automatic particle-counting systems for liquids — Methods of calibration and validation

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS) (TC131)

ISO/DIS 4399, Fluid power systems and components — Connectors and associated components — Nominal pressures

ISO/FDIS 6149-1, Connections for hydraulic fluid power and general use — Ports and stud ends with ISO 261 metric threads and O-ring sealing — Part 1: Ports with truncated housing for O-ring seal

~~~~~  
標準化事業/規格事業  
~~~~~

空気圧調質機器分科会

日 時 1月17日(木) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 國崎主査以下4名

事務局 前畑

議 事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、ISO 投票案件について審議した。ISO/DIS 10094-1 は特に問題ないため、賛成にて投票することとした。また、ISO/FDIS 20145 は、DIS 投票時の日本提案が承諾されているにも関わらず原案に反映されていないため、反対にて投票すると共に再提案することとした。

次いで、サイレンサ規格 ANNEX(normative) に関して審議した。日本案に対してドイツから要望があり、検討した結果、特に問題ないため承諾することとした。

最後に、JIS B 8372-2 (空気圧-空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁-第2部:供給者の文書に表示する主要特性の試験方法) 改正について、前回に引き続き、対応国際規格 ISO 6953-2 との対比しながら修正作業を行った。

次回開催: 3月1日(金) 機械振興会館

油圧・空気圧システム合同分科会

日 時 1月21日(月) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 町田主査以下 5 名

事務局 前畑

議 事

JIS B 0125-1 (油圧・空気圧システム及び機器一
図記号及び回路図―第 1 部: 図記号) の改正につい
て、油圧システム及び空気圧システムの選抜委員に
よる合同分科会にて審議した。油圧及び空気圧の共
通項目、解説、原案の書式について討議した。今後、
各分科会で修正等を実施し、規格協会へ様式調整提
出することとした。

次回開催: 必要に応じ設定

JIS 原案作成本委員会

日 時 1月22日(火) 13:30~16:30

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 北川委員長以下 9 名

事務局 前畑

議 事

北川委員長 (東京工業大学名誉教授) 開会挨拶、
委員自己紹介の後、「JIS B 8358 (油圧―ブラダ形ア
キュムレータ)」及び「JIS B 8366-4 (油圧―2 ポー
ト形スリップイン式カートリッジ弁―取付面及び取
付穴寸法)」の JIS 原案の審議を行った。審議の結果、
技術的に問題となる事項は特になく、各委員からの
指摘事項について修正した後、日本規格協会へ提出
することとした。

油空圧シール分科会

日 時 1月23日(水) 13:30~16:30

場 所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 南主査以下 13 名

事務局 前畑

議 事

委員の交代があり、鈴木委員 (SMC) から大関委員
に交代された。

まず、前回の議事録について確認し、特に問題な
く承認された。

次いで、本年 5 月に開催される ISO/TC131 パリ国
際会議のスケジュールについて報告があり、情報共
有した。

次いで、JFPS 1003 (油圧シリンダ用パッキンの使
用・選定指針) の見直しについて、前回指摘事項の
修正版の審議を行った。また、書式が古いため、最

新の JIS 規格に沿った書式に変更することとした。

最後に、ISO 規格の審議でも話題になっている
Rmr [Rz] に関して、精密機器メーカーから入手した資
料 (シールしゅう動面の Rmr 測定) について内容確
認すると共に意見交換した。

次回開催: 3月19日(火) 機会振興会館

油圧バルブ分科会

日 時 1月29日(火) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 B3-9 会議室

出席者 浦井主査以下 11 名

事務局 前畑

議 事

委員の交代があり、吉本委員 (日立建機) から小
林委員に交代された。

まず、前回の議事録について確認し、特に問題な
く承認された。

次いで、現在投票に掛かっている案件について審
議した。ISO/FDIS 4411 は、DIS 投票時に受諾された
日本提案が反映されていないため、Approval with
Correction (修正付き賛成) にて投票することとし
た。

次いで、本年 5 月に開催される ISO/TC131 パリ国
際会議のスケジュールについて報告があり、情報共
有した。

次いで、今月開催された JIS 原案作成本委員会の
報告がなされた。審議対象案件 JIS B 8668 (油圧―
2 ポート形スリップイン式カートリッジ弁―取付面
及び取付穴寸法) に関して、幾つかの指摘事項があ
り、修正の上、日本規格協会に提出することとした。

最後に、JIS 定期見直し結果の報告があり、今後
の JIS 制定・改正テーマの検討を行った。対象とな
っている JIS で、B 8347、B 8657、B 8660 は改正必
要なしとした。また、B 8355 及び B 8357 は、対応
国際規格が改正されているが、各委員にて相違点を
確認・検討し、次回の分科会で JIS 改正有無を決定
することとした。

次回開催: 6月26日(水) 機械振興会館

空気圧制御技術分科会

日 時 1月30日(水) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 B3-9 会議室

出席者 渡辺主査以下 6 名

事務局 前畑

議 事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題な
く承認された。

次いで、本年5月に開催されるISO/TC131パリ国際会議のスケジュールについて報告があり、情報共有した。

次いで、空気圧機器と上位機器とのインターフェースに関する用語の制定について、各委員で調査・選定した用語に対する説明内容の妥当性を討議・修正した。

次回開催：4月17日(水) 機械振興会館

~~~~~  
技術調査事業  
~~~~~

技術委員会空気圧部会第555回特許分科会
日時 1月25日(金) 13:00～17:00
場所 機械振興会館6-61会議室
出席者 井野幹事以下2名
事務局 吉田
議事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。ウォッチング対象案件の一つが特許登録となったことが確認され、新規案件として調査することとした。他の案件については引き続きウォッチングを継続することとした。1件についてはJ-Plat Patの審判情報をウォッチングしていくこととした。2件については引き続き調査することとした。1件の新規案件が提出された。

次回開催：2月22日(金) 名古屋国際センター
第5会議室

ADS国際標準化推進委員会(第5回)
開催日 1月31日(木)
場所 機械振興会館B3-1会議室
出席者 池尾委員長以下14名
事務局 宮川、前畑、大野、大橋
議事

1. 平成30年度WG-B～E実施内容報告

本年度最終回として、WG-B、WG-C1、WG-C2、WG-D、WG-Eの実施内容、また、事前に提出いただいた報告書(含む、規格案)に関して、配布資料と個別発表用資料を基に、大学側委員から報告を受け、質疑応答を行った。締めくくりとして委員長から講評をいただいた。

2. 大日程の確認と成果報告書の提出

配布資料に基づきISO提案活動の実施経過説明と、成果報告書(技術資料及び標準規格試案)の概要及び提出日程が事務局より紹介された。

3. 今後の方針と進め方、ほか

今後の国際標準化推進の方針と具体的な進め方に関する専務の挨拶文を幹事が代読した。

委員会終了後、学生を交えて懇親会を行った。参加者のうち2名は本年3月で修士2年を修了するため、閉会に際し当委員会に参加しての感想を述べてもらった。

来年度の開催日程は別途調整後連絡する。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

*2019年

☆3月29日(金) 第30回政策委員会
(時間) 16:00～17:00
(場所) JFPA 会議室

終了後 懇親会

☆4月19日(金) 第86回理事会
(時間) 15:30～16:50
(場所) ザ・プリンスさくらタワー高輪
2F「コンファレンスN1-N5」
理事会懇親会
同上 17:00～18:30
2F「コンファレンスN5-N8」

☆5月16日(木) 第20回定時総会
(時間) 15:30～16:50
(場所) 東京プリンスホテル芝公園
2F「サンフラワーホール」
総会後の懇親会

(時間) 17:00～18:30

(場所) 東京プリンスホテル芝公園
2F「マグノリアホール」

☆5月17日(金) 第58回JFPA 懇親ゴルフ会
(場所) 程ヶ谷カントリー倶楽部

~~~~~  
1月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(標準化事業/規格事業)

空気圧調質機器分科会

開催日 1月17日(木)

出席者

主査 國崎雄嗣 (CKD)

委員 三村岳 (SMC)
〃 出澤大 (クロダニューマティクス)
〃 阪上隆之 (甲南電機)

油圧・空気圧システム合同分科会

開催日 1月21日(月)

出席者

主査 町田哲治 (東京計器)

委員 増尾秀三 (CKD)

〃 山本裕 (ボッシュ・レックスロス)

〃 張本護平 (SMC)

〃 門間崇宏 (コガネイ)

JIS 原案作成本委員会

開催日 1月22日(火)

出席者

委員長 北川能 (東京工業大学)

委員 香川利春 (空気圧工学研究所)

〃 大槻文芳 (日本工作機械工業会)

〃 長谷川務 (トヨタ自動車)

〃 菊地治彦 (東芝機械)

〃 齊藤理人 (日本アキュムレータ)

〃 伊藤達夫 (KYB)

〃 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)

油空圧シール分科会

開催日 1月23日(水)

出席者

主査 南暢 (バルカー)

委員 北川泰章 (CKD)

〃 宮本博夫 (NOK)

〃 中尾雅司 (NOK)

〃 鈴木康永 (SMC)

〃 大関浩太郎 (SMC)

〃 寺島剛資 (エア・ウォーター・マッハ)

〃 曾谷崇 (甲南電機)

〃 但木郁夫 (荒井製作所)

〃 太田正貴 (阪上製作所)

〃 假屋隆広 (三菱電線工業)

〃 辻田智 (日東工器)

〃 高牟礼辰雄 (JFPA)

油圧バルブ分科会

開催日 1月29日(火)

出席者

主査 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)

委員 中村雅之 (KYB)

〃 瀬川均 (ダイキン工業)

〃 小林正幸 (ナブテスコ)

〃 安永和敏 (東京計器)

〃 吉本光宏 (日立建機)

〃 小林義伸 (日立建機)

〃 小倉祐二 (不二越)

〃 藤坂昌廣 (豊興工業)

〃 高野一治 (油研工業)

〃 八上光春 (廣瀬バルブ工業)

空気圧制御技術分科会

開催日 1月30日(水)

主査 渡辺敏之 (TAIYO)

委員 米田充孝 (CKD)

〃 楊春明 (SMC)

〃 石毛桂 (クロダニューマティクス)

〃 金子幸夫 (コガネイ)

〃 高橋隆通 (甲南電機)

(技術調査事業)

ADS 国際標準化推進委員会 (第5回)

開催日 1月31日(木)

出席者

委員長 池尾 茂 (上智大学)

委員 眞田一志 (横浜国立大学)

〃 柳田秀記 (豊橋技術科学大学)

〃 飯尾昭一郎 (信州大学)

〃 鈴木健児 (神奈川大学)

〃 吉田太志 (KYB)

〃 井口 務 (廣瀬バルブ工業)

〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)

〃 細井耕平 (堀内機械)

〃 鳥居良介 (阪上製作所)

〃 黒須 寛 (イハラサイエンス)

オブザーバー 渡部圭次 (経済産業省)

オブザーバー 福永奈緒 (野村総合研究所)

〃 大林義博 (KYB)

〃 岩崎宏文 (イハラサイエンス)

学生 大塚怜汰 (横浜国立大学)

〃 岡部仁美 (信州大学)

〃 渡部あかり (信州大学)

〃 藤本裕敬 (豊橋技科大学)

技術委員会空気圧部会第555回特許分科会

開催日 1月25日(金)

出席者

幹 事 井野雅康 (SMC)
委 員 今野英俊 (コガネイ)

~~~~~  
月間行事概要  
~~~~~

<1月>

- 7日(月)
 - ・仕事始め
- 16日(水)
 - ・年始会
 - ・第85回理事会
- 17日(木)
 - ・標準化(委)空気圧調質機器分科会
- 21日(月)
 - ・標準化(委)油空圧システム合同分科会
- 22日(火)
 - ・JIS原案作成本委員会
- 23日(水)
 - ・標準化(委)油空圧シール分科会
- 25日(金)
 - ・技術(委)空気圧部会第555回特許分科会
- 29日(火)
 - ・標準化(委)油圧バルブ分科会
- 30日(水)
 - ・標準化(委)空気圧制御技術分科会
- 31日(木)
 - ・ADS国際標準化推進委員会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
